

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|------------|
| ○事業所名 | クオリティ・オブ・ライフひたちなか支援教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年3月1日 | | 2026年3月18日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) 26 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年3月1日 | | 2026年3月18日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数 | 配置数としては問題はないが、利用人数の増加、個別に支援が必要な利用者が多い日などは、1人1人に細かい支援が行き届きにくい。 | 事前に職員間で役割や流れを共通理解して、質の高い支援が行えるように努めていきたい。 |
| 2 | 運動カリキュラムの満足度 | カリキュラムでは同じ練習でもゲーム性やルールを工夫しながらルールの中で楽しく参加する中で、達成感を味わえるように発達段階に合わせたメニューを提供していきます。 | 体を動かす事が楽しく、ひたちなか教室にまた来たいと思えるようなプログラムや環境を整えていく。 |
| 3 | 保護者との情報共有 | 記録の記入については保護者の方が子どもの様子が見てわかるように具体的に記入している。 また、送迎時に様子などを話し情報共有をしている。 SNSでは行事の様子は事業所の紹介を行っている。 | 引き続き保護者との連携を深くしていく。 保護者の困り事や悩みがあった場合は、学校や関係機関と連携していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 地域や保護者との交流が少ない。 | 交流の場を設けているが土曜日が多いことで特定の利用者のみということがある。 | 今年度は保護者会を実施したことで、職員、保護者同士の情報共有や親睦を深める機会ができた。 長期休みなどに他事業所との交流バスケカリキュラムや外出カリキュラム、農業体験など地域やグループ内での交流がある場合は積極的に周知をしていく。 |
| 2 | 非常時の対応に関する評価が低い。 | 事業所が2階のため階段での移動が危険な利用者がいる。 避難訓練は年に2回実施しており、取り組み自体は行っているが、情報開示、伝え方が弱い | 階段では支援が必要な利用者には手を繋いで安全を確保しながら上り下りをしていく。手すりを付けるなどの対策を検討する。 非常時の対応について、定期的な情報提供、教室内提示、避難訓練の実施の際は内容を含めて保護者に共有していく。 |
| 3 | | | |